

4. 減災に関する取組方針の実施状況 (フォローアップ)

尻別川の減災に関する取組の実施状況

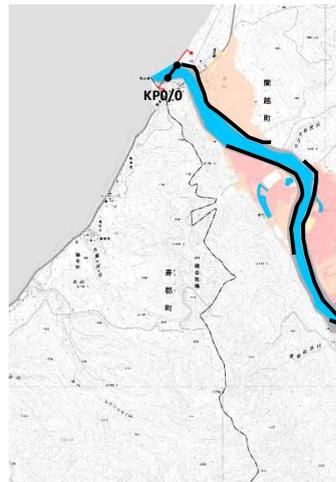
ハード対策：「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」河道掘削
「危機管理型ハード対策」堤防法尻の補強を実施

【小樽開発建設部】

尻別川国管理区間におけるハード対策の実施状況

H30.6時点

ハード対策	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年
洪水氾濫を未然に防ぐ対策 (河道掘削)	豊国地区	豊国地区	豊国地区	豊国地区	
危機管理型ハード対策 (堤防法尻補強)	蘭越地区 豊国地区	大谷地区 名駒地区 三和地区	名駒地区 三和地区	豊国地区 三和地区	



■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

豊国橋下流で、洪水を河川内で安全に流すために、河道を掘削して川幅を広げる河道掘削工事を継続実施しています。



河道掘削工事(継続実施)

■危機管理型ハード対策

洪水が堤防を越えて溢れ出た場合、洗掘により決壊するおそれがあるため、決壊までの時間を少しでも引き伸ばすための堤防法尻を補強する工事を継続実施しています。



イメージ

堤防法尻補強工事(継続実施)

H28公表浸水想定区域図

凡例

- 浸水した場合に想定される水深(ランク別)
- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0～10.0m未満の区域
- 10.0～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 市町村界
- 浸水想定区域の指定対象となる洪水予報河川

周知・教育：住民への水防災意識啓発のための広報活動

【小樽開発建設部、蘭越町】

◆尻別川減災対策協議会は、7月30日(日)に開催された「蘭越せせらぎまつり」会場において、地域住民の水防災意識向上を目的とした「広報活動」を実施しました。

広報活動は、過去に尻別川で発生した洪水や昨年の道内における台風被害、水防災に関わる「パネル展示」、実際の洪水の状況を体験できる地下浸水体験装置を使った「浸水体験」、災害対策用機械(排水ポンプ車)の展示・実演を行いました。

広報活動の概要

- ◆実施日時：平成29年7月30日(日)9:30～15:00
- ◆場 所：蘭越町 尻別川河川公園 蘭越せせらぎまつり会場



パネル展示の様子



浸水体験の様子



排水ポンプ車実演の様子



排水ポンプで水を貯めた池でボートボード体験

防災教育：中学生を対象とした防災学習を実施 【小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町】

◆小樽開発建設部と後志総合振興局は、「尻別川の減災に関する取組」のソフト対策の一環として、蘭越町の中学生を対象とした防災学習を実施しました。中学生が避難所を運営する立場となり避難者を受け入れ、避難所で起こる様々な出来事に対応していくかを『避難所運営ゲーム(HUG)北海道版(Doはぐ)』を用いて模擬体験することにより、災害に対する心構えや災害発生時の対応を学習しました。

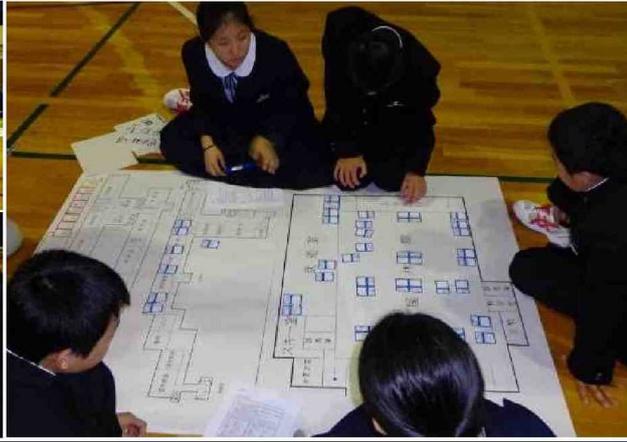


防災学習会の概要

- ◆実施日時：平成29年10月10日(火)13:25~15:15
- ◆場 所：蘭越中学校 体育館
- ◆参加者：蘭越中学校1年生 36名、
教員・講師・その他 19名 合計55名

～『避難所運営ゲーム(HUG)北海道版(Doはぐ)』とは～

静岡県が開発したHUGに、北海道の気候や東日本大震災の経験などの観点を加え、避難所生活や避難所運営を自分の事としてとらえ、地域防災対策の課題をみつけやすくすることを目的に、静岡県の使用許諾を得て北海道が作成したものです。



◆参加した生徒の感想

- ・避難してきた人にはそれぞれ事情があるので、避難所のどこに配置するか考えるのが難しかった。特に、病人や動物の配置が大変だった。
- ・限られた数の食料や飲み物をいつどのように割り振るか難しかった。
- ・すごく難しかったけど、楽しく災害時の対応を学ぶことができた。
- ・他の班と違う考えになったのは面白かった。
- ・とても良い経験ができた。実際の避難所でも役に立つと思う。

防災教育：地域住民を対象とした防災意識向上講演会を実施 【小樽開発建設部、蘭越町】

◆尻別川減災対策協議会は、「減災に関する取組」のソフト対策の一環として、地域の住民を対象とした「防災意識向上のための防災講演会」を開催しました。

講演会は、「気象情報の有効な使い方」と題して、北海道テレビ放送(HTB)の「イチオシ! モーニング」でお天気コーナーを担当している気象予報士の清水秀一氏に御講演をいただき、大雨などの災害時における心構えや安全な行動を学習し防災意識の向上を図りました。



開催案内

防災意識向上講演会の様子



講演会の概要

- ◆実施日時：平成29年10月20日(金) 17:30~18:45
- ◆場 所：蘭越町民センター らぶちゃんホール
- ◆講 師：気象予報士・防災士 清水 秀一 氏
- ◆参加者：蘭越町他住民 約90名

参加した住民からは、「スマートフォンで簡単に入手できる防災情報が、たくさんあることを知りました。」「気象情報を自ら収集して、防災に役立てたい。」などの声が聞かれました。

防災訓練：堤防の決壊や越水等に伴う氾濫に備え 「水害タイムライン検討会」を関係機関と連携して開催【減災対策協議会 7機関】

◆尻別川減災対策協議会は、尻別川における堤防の決壊や越水等に伴う氾濫に備え、協議会において策定した「尻別川の減災に関する取組方針」に基づき、自治体や河川管理者などの関係機関がとるべき行動をあらかじめ定めた、蘭越地区の「水害タイムライン」を作成することを目的に、第2回検討会を開催しました。

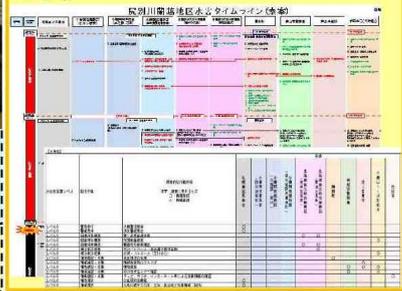


- ◆実施日時：平成29年12月1日（金）13:30～16:00
- ◆場 所：蘭越町民センター らぶちゃんホール
- ◆参加者：蘭越町、後志総合振興局地域創生部・小樽建設管理部、北海道札幌方面倶知安警察署、羊蹄山ろく消防組合、陸上自衛隊北部方面対舟艇対戦車隊、札幌管区气象台、小樽開発建設部 計 8機関 24名

タイムライン検討会の様子



※タイムラインとは、災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、**防災行動（災害発生前に実施する災害応急対策）**とその実施主体を時系列で整理したものです。

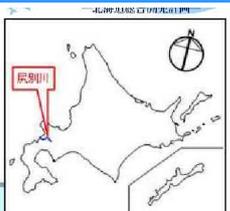


第2回検討会では、前回の検討結果を踏まえて整理したタイムラインについて、時間経過に則ったロールプレイング形式で疑似体験する検証訓練により各機関の防災行動の内容やタイミングの確認・見直しを行い、精度向上・充実を図りました。

参加した各機関からは、「不足している行動や順序の違いが確認できた。」「他機関の動きを把握することにより、情報伝達のタイミングが確認できた。」等の意見が出ました。

共同点検：夏期の出水に備え「水害リスクの高い箇所の共同点検」を関係機関と連携して実施【減災対策協議会 7機関】

◆尻別川減災対策協議会では、大雨や台風による洪水に備え、水防活動の効率化及び水防体制の強化を図ることを目的に「水害リスクの高い箇所の共同点検」を実施しました。点検は、尻別川の国管理区間において、洪水が発生した際に大きな被害が想定される蘭越町市街地を中心に、流下能力の不足により越水被害のおそれがある重要水防箇所や危険箇所、想定される浸水区域等の確認を行い、水害リスクを共有しました。



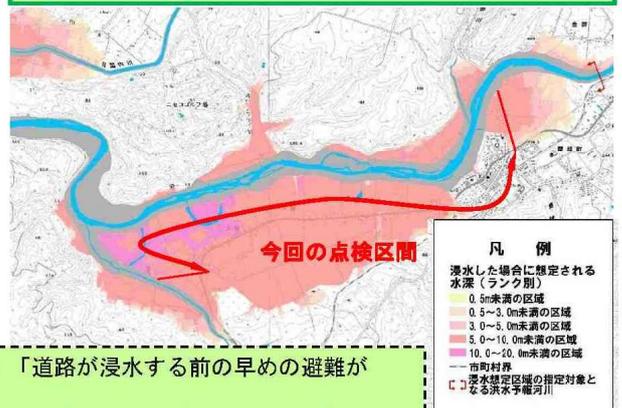
点検の概要

- ◆実施日時：平成30年6月15日（金）13:00～14:30
- ◆場 所：蘭越町 蘭越地区、大谷地区、名駒地区水防資材庫
- ◆参加者：蘭越町、蘭越消防団（水防団）、地域住民、後志総合振興局、北海道札幌方面倶知安警察署、陸上自衛隊 北海道電力株式会社、小樽開発建設部 計 7機関 24名

共同点検の様子



点検区間と洪水浸水想定区域図



参加した住民からは、「洪水で浸水する地区や道路が確認できた。」「道路が浸水する前の早めの避難が必要。」などの声が聞かれました。

水防訓練：「水防工法実技訓練」を関係機関と連携して実施【減災対策協議会 10機関】

◆洪水時における円滑な水防活動の推進を図るとともに、防災関係機関の水防体制の強化に資することを目的に、蘭越町主催による「蘭越町水防工法実技訓練」を実施しました。
訓練は、蘭越消防団(水防団)による水防工法の実技訓練、災害対策用排水ポンプ車の運転、見学者を含め防災意識の向上を目的とした水防災に関するパネル展示を行いました。



訓練の概要

- ◆実施日時：平成30年6月15日(金)9:30~11:30
- ◆場所：蘭越町 尻別川河川公園
- ◆参加者：蘭越町、蘭越消防団(水防団)、蘭越建設協会、羊蹄山ろく消防組合、北後志消防組合、岩内・寿都地方消防組合、後志総合振興局、北海道札幌方面倶知安警察署、陸上自衛隊、小樽開発建設部
- 計 10機関 152名 (うち水防団80名)

水防工法実技訓練の様子



参加者整列



色々な水防工法で使用される土のうの製作



排水ポンプ車訓練



堤防から水が溢れ出ることを防ぐ改良積み土のう工



月の輪工



水防災パネル展示

水防とは

洪水時には、河川管理者が整備している堤防等の治水施設の効果とあわせ、市町村の地域住民が実施する水防活動によって、洪水被害の拡大を防いでいます。水防とは自らの地域を自らの手で守る自衛の減災活動であり、その中心となるのが水防団です。

洪水の際に堤防から水が溢れ出る(越水)、水の流れて削られる(洗掘)、亀裂、崩壊、堤防もしくは地面からの水漏れ(漏水)などによる被害の拡大を防ぐための様々な水防工法があります。

・水防団をはじめとする参加者は、真剣な表情で実践さながらの実技訓練に取り組みました。

避難行動：蘭越町行政通信システムを整備、避難訓練に活用【蘭越町】

- 蘭越町では、平成26年度から28年度の3カ年計画により、蘭越町行政通信システムを整備。平成29年4月より運用開始。
- 緊急時は、屋外スピーカーと放送端末機から最大音量で緊急放送が流れます。さらに、国が整備したJアラート(緊急情報通報システム)と連携していますので、緊急地震速報などが放送されます。
- 例年実施している「地震津波避難訓練」や「原子力防災訓練」でも行政通信システムを活用しています。

行政通信システムを活用した防災訓練



家庭、事業所などに放送端末機を設置

町内全域の34カ所屋外スピーカーを設置

《平常時の主な機能》

- ・定時放送(1日3回)
～ 各種イベント情報などを放送
- ・緊急放送
～ 放送端末機と屋外スピーカーから放送
- ・ラジオ放送(NHK FM)
- ・域内無料通話
～ 町内での無料通話が可能。



地震津波避難訓練(平成29年11月3日)



北海道原子力防災訓練(平成30年2月8日)



北海道 概ね5年で実施する取組～ハード対策 (平成29年度実施)

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

○堤防整備、河道掘削、護岸整備、河畔林伐採【平成33年度：後志総合振興局】

【交付金事業】

河川名	市町村名	事業概要
尻別川	倶知安町、喜茂別町、京極町	築堤工、掘削工、樋管工
オロッコ川	京極町	掘削工、護岸工
ルベシベ川	ニセコ町	掘削工、護岸工、排水工

【単独事業】

河川名	市町村名	事業概要
尻別川	倶知安町、喜茂別町、京極町	掘削工、伐木工
カシプニ川	京極町	掘削工、伐木工
ペーペナイ川	京極町	掘削工、伐木工
ワカタサップ川	京極町	掘削工、伐木工
倶登山川	倶知安町	掘削工、伐木工
硫黄川	倶知安町	掘削工、伐木工
喜茂別川	喜茂別町	掘削工、伐木工



北海道 概ね5年で実施する取組～ハード対策 (平成29年度実施)

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

○堤防整備、河道掘削、護岸整備、河畔林伐採【平成33年度：後志総合振興局】

【交付金事業】



尻別川(喜茂別地区) 掘削工



オロッコ川 放水路



ルベシベ川 掘削、護岸工

【単独事業】



尻別川(喜茂別地区) 伐木工 (施工前)

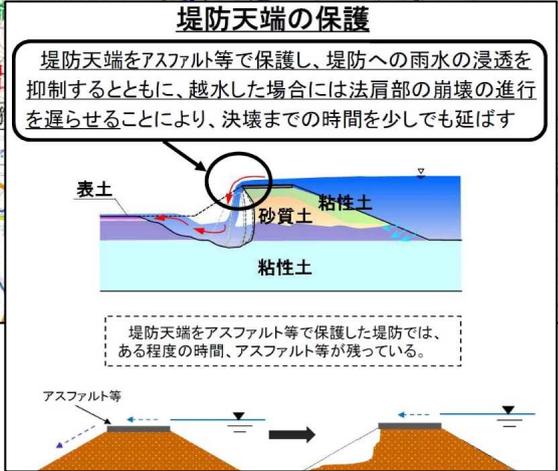


尻別川(喜茂別地区) 伐木工 (施工後)

北海道 概ね5年で実施する取組 ～ハード対策 (平成30年度以降予定)

■危機管理型ハード対策

○危機管理型ハード対策として、堤防を粘り強い構造へ強化するための堤防天端保護を実施
【平成33年度：後志総合振興局】



北海道 概ね5年で実施する取組 ～ハード対策 (平成30年度以降予定)

■危機管理型ハード対策

○危機管理型ハード対策として、堤防を粘り強い構造へ強化するための堤防天端保護を実施
【平成33年度：後志総合振興局】

施工例



施工前



施工後